

# 中 緑が丘

自主  
健康  
友愛



←学校HP  
はこちら

## 復興教育講演会「生かされた命」

### 震災当時、大槌中学校に勤務していた三浦剛先生の話

3月3日（金）、本校に三浦剛先生をお迎えし、生徒や教職員、保護者の皆さまの参加のもと、復興教育講演会を行いました。

以前、私は三浦先生のお話を聞く機会があり、この話は岩泉中学校の生徒や職員に聞かせたいとずっと願っていました。震災を後世に伝えていくことはもちろん、命の大切さや夢をもつことの意味など、郷土（岩泉、岩手、日本、地球という郷土）の未来を担う中学生にとって、必ず有意義な機会となると思ったからです。

生徒たちが何を学び、感じたかは講演会後の感想を読んでいただければ伝わると思います。文章の一部を抜粋して多くの感想を掲載しようかとも考えましたが難しく、紙面の都合で4名の全文を紹介します。

三浦 剛（みうら たけし）先生

震災当時は、大槌町立大槌中学校の副校長先生を務められていました。

その後、花巻市立湯本中学校の校長先生などを歴任されました。滝沢市在住



#### 中村美唯奈さん（1年）

私は東日本大震災のときは一歳ぐらいで記憶もないし、話でしか聞いたことがなくて、くわしくはあまり知りません。けれど、これまでやってきた復興教育や今日の講演で、改めてたくさんの方がすごく大きな被害を受けたり、大切な人を亡くしてしまったりと、とても大変なことだったのだと知りました。私達は自分の記憶で語り継いでいくことはできないので、そんな人でもできること、こういうお話を聞いてこの災害を知ることやそれを忘れないことなど、できることをやりたいと思いました。そして、私に命をくれたお父さん、お母さんになかなか恥ずかしくて言えないけど、ありがとうと伝えたいなと思いました。それから、自分の夢をもう一度しっかり考えてみたいなと思いました。小さい頃は簡単に夢を決めることができていたけど、大きくなってからは夢があったとしても、それを言うことができなくなってしまいました。けれど、自信をもって言いたいと思いました。そしてその夢を叶えられるようにこれから頑張りたいと思いました。そして何より、周りの人に感謝をして、一日一日を大切に楽しく生きていきたいと思いました。



←三浦先生の話当真な表情で聞く生徒たち

感想発表 →

畠山壮平さん（1年）

八重樫陸さん（2年）

佐藤和志さん（3年）



### 有原実花さん（2年）

三浦先生の講演を聞いて、この先の生き方、そして命についてより深く考えさせるものでした。何のために生きるのか、何のために生まれたのか、考えてみれば正しいものというのは存在しないし、それぞれ生まれてきたことが奇跡で、こうやって今の友達、先生方みんなと出会えたことも何か意味があるのかなと感じました。そして、三浦先生は命の大切さも教えてくださいました。どれだけ命が大切なものが分かったし、これからも大切にしていきたいと思いました。

東日本大震災から12年がたとうとしている今、津波の映像や体験した話を聞いて、津波は街だけでなく人々の生活や思い出までも奪っていく恐ろしいものでした。私がそこにいたわけではないけど、映像から分かる悲惨さ、これはいつまでも語り継ぐべきものだと思います。そして、そこから復興していく人々の強さ、そして子供たちのたくましさを見習っていきたいと思いました。

命を大切にすることは当たり前のことだと思います。けど、数えきれないほどの奇跡の上にあるこの命を大切に、ここまで育ててくれている母や父に感謝してこれからの人生を歩んでいきたいです。

### 應家瑠玖さん（3年）

今回の講演を聞いて、今自分が生きているのは奇跡なのだと分かった。普段は当たり前だと思うことでも、震災で亡くなった人や事故でなくなった人、病気で亡くなった人、戦争で亡くなった人など、身近で起こったことじゃないだけで、毎日何人も何人も亡くなっていることを考えると、自分が生きているのは奇跡と言えるのだなと思った。東日本大震災当時、どれだけつらい思いをしたのか分からないが、写真や映像を見るだけで震災の恐ろしさが伝わってきた。そんなつらい中でも、地域のために行動する生徒はすごいと思った。また、体育祭、文化祭を提案した三浦先生も、提案したことにより先生たちを感動させ、生徒ががんばっている姿を見たい家族の人達に感動を与えてすごいと思った。自分も誰かのために動ける人になればいいと思った。講演を聞き、夢に向かって進むのだから夢を持つことは大切だと分かった。少しずつでいいから自分もなりたいたいと思う夢を持ち、その夢に向かって進んでいきたいと思った。

### 佐々木悠琉さん（3年）

今日の話聞いて、改めて命の大切さや、普段の生活から大切であることを感じた。高校に入学するのが目標ではなく、自分の夢に向かって、今から頑張っていくことで夢を実現させることができると思った。自分は将来、どんなことがあっても目の前にある命を救うことが大切である消防士になりたいと思っているので、今からの生活をしっかり大切にしていきたい。そして、3・11の東日本大震災や、8・30の台風10号などの大きな被害で被災していることを今で止めるのではなく、しっかりとこのような災害があったことを後世に伝えて、自分も含めて、自分たちの町の復興、そして被災した町をより明るくできるように頑張っていきたいと今日の三浦先生の話聞いて感じた。本当にありがとうございました。

## 明日は震災から12年目の3月11日

### 午後2時46分、それぞれの場所で黙とうをささげましょう

明日は東日本大震災から12年目の3月11日を迎えます。今年は土曜日にあたるため、自宅などで午後2時46分を迎えることとなります。先日の講演会やこれまでの復興教育、8・30集会などを重ね、一人一人が防災や命について考えてきたと思います。それぞれの場所で黙とうをささげましょう。

## 「トルコ・シリア地震」街頭募金

日時 3月20日（月）11時10分～11時40分

場所 ニコット岩泉店、薬王堂岩泉店、ツルハドラッグ岩泉店  
など

1・2年生生徒による募金活動です。ボランティアで募金箱やポスターをつくって準備を進めています。

